

子どもの声で虐待防止を 海渡君事件受けキャンペーン

(2010年10月2日午前8時46分)

東京都江戸川区で1月に起きた小学1年岡本海渡君＝当時（7）＝虐待死事件を受け、子どもの人権を守る活動をしている任意団体「江戸川子どもおんぶず」と、若者グループ「チームあさって」が「子どもの声を反映した再発防止策を」とキャンペーンを続けている。

全国千人を目標にした子ども向けアンケートも実施。「おんぶず」の大河内秀人代表は「虐待事件は親の問題にだけ目が向きがちだが、当事者は子どもたち。声を聞くことが必要だ」と話している。

海渡君事件の問題点の一つは、学校や区の子ども家庭支援センターが、異変に気づきながら防げなかったこと。「おんぶず」が地域の若者たちに話を聞いたところ、彼ら自身が「自分たちの町で起きた問題だ」と「チームあさって」を結成した。

17～25歳の十数人で、チーム名は「じゃ、次の会議はあさって！」と即断即決の行動力から付けた。支援センターを訪ねたり、遊び場で子どもの本音を探ったり。放課後などに結果を持ち寄って議論した。



虐待防止キャンペーンの報告シンポジウムに向け、準備する「江戸川子どもおんぶず」と「チームあさって」のメンバー＝9月27日、東京都江戸川区